

令和6年度 第3回防災安全教育専門委員会 秋期研修会

【実施日】

2024. 11. 15 (金) 実施

【実施場所】

城南静岡高等学校・中学校（静岡県静岡市駿河区八幡町1-1）

【出席者】 13名（午前） 18名（午後）

部会長:村上紀彦（城南静岡）

副部会長:鈴木孝（城南静岡）

専門委員:出口美絵（不二聖心）記録・撮影

専門委員:高橋善彦（浜松日体）記録・撮影

専門委員:鈴木英武（加藤学園）記録・撮影

専門委員:吉田和生（聖隷クリストファー）記録・撮影

専門委員:萩原広祐（東海大静岡翔洋）※午後のみ

名波正尊（知徳）

関野浩二（日本大学三島）※午後のみ

植松正樹（沼津中央）

山口智己（飛龍）※午後のみ

岡田一彦（静岡サレジオ）※午後のみ

片井奈美（静岡大成）※途中参加

近藤悠香（静岡英和女学院）

榛葉啓太（静岡学園）

松崎康晃（磐田東）※午後のみ

小野田吉伸（聖隷クリストファー）

大塚涼雅（聖隷クリストファー）

【研修会の内容】

9:20～

受付開始

9:50～

部会長 村上紀彦先生挨拶

諸連絡

9:55～12:00 (90分)

『「いきる」大川小学校 津波裁判を闘った人たち』の上映

2011年3月11日に起こった東日本大震災で、宮城県石巻市の大川小学校は津波にのまれ、全校児童の7割に相当する74人の児童と10人の教職員が亡くなった。この惨事を引き起こした事実・理由を知りたいという親たちの切なる願いに対し、行政の対応には誠意が感じられず、その説明に嘘や隠ぺいがあると感じた親たちは真実を求め、石巻市と宮城県を被告にして国家賠償請求の裁判を提起した。震災直後から、そして裁判が始まってからも記録を撮り続け、のべ10年にわたる映像が貴重な記録して残ることになる。

○午前研修会の様子

①



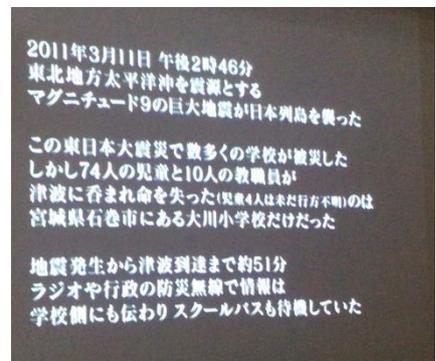
②



③



④



12:00～13:00

昼食・休憩

13:00～

○午後研修会の様子

テーマ『災害・危機に備える ～危機管理の視点から～』

自衛隊静岡地方協力本部静岡募集案内所 所長 成清隆太 様

防災対策の目的 … 危機感や緊張感（を煽る事）ではなく、安心と自信を得ること！

（災害の理屈を知り、自分を知る事）

1 大規模災害について

①東日本大震災（2011年3月11日（金） 14時46分）

地震の規模 … 震度 7 マグニチュード 9.0

地震の特色 … 津波による広域・甚大な被害、原子力災害との複合事態地方自治体の機能喪失

活動規模 … 約 320 万人（トモダチ作戦）

被害状況 … （死者・行方不明者）23,562 人、（自衛隊による収容遺体）9,505 体

②能登半島地震（2024年1月1日(月) 16時10分）

地震の規模 … 震度 7 マグニチュード 7.6

地震の特色 … 津波による被害、土砂災害・火災・液状化現象、交通網の寸断活動規模 … 約 114 万人

被害状況 … （死者・行方不明者）299 人、（自衛隊による人命救助）約 1,040 人

③南海トラフ大震災（震度 6 弱以上の地震が広範囲で発生予測）

地震による被害見積 … 静岡県 死者 9,300 人、要救助者 57,300 人、建物全壊 163,000 件

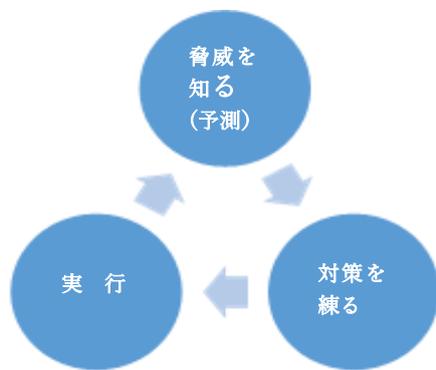
津波による被害見積 … 静岡県 死者 79,000 人、要救助者 300 人、建物全壊 28,000 件

自衛隊の南海トラフ地震対処の一例

海上 … 大湊(青森)、横須賀(神奈川)、舞鶴(京都)、呉(広島)、佐世保(長崎)より救助

航空 … 三沢(青森)、百里(茨城)、熊谷・入間(埼玉)、美保(島根)、福岡・築城(福岡)より救助

2 危機管理とはイメージ



①不測事態を予測事態に変え危険を回避

「大丈夫だろう」⇒「危険かもしれない」に考え方を考える

②事前の周到的準備

非常用グッズの準備、訓練・予行

3 脅威を知る ～リスク予測・正しい知識～

①台風 10 号被害（2024 年 8 月 26 日 静岡県静岡市内の映像）

②堤防決壊とは（2015 年 9 月 10 日 茨城県鬼怒川の映像）

③土石（木）流の瞬間（2021 年 7 月 3 日 静岡県熱海市の映像）

④大規模震災 … 東日本大震災（2011 年 3 月 11 日 家屋倒壊の現状・津波の破壊力の映像）

⑤火山災害（2014 年 9 月 27 日 長野県・岐阜県 御嶽山の映像）

⑥生死を分ける時間 … 発災後、生死を分けるタイムリミット 72 時間（3 日間）

4 対策を練る

① 対策の考え方（阪神淡路大震災での割合）

自助 … 自分で自分・家族を守る（67%）

共助 … 近隣・地域・周囲の人たちと協力して助け合う（31%）

公助 … 自治体・警察・消防・自衛隊等公的機関による救助・救援

②防災物品を用意しよう

最低、約 10 日分 (2.5 食/1 日) を用意

- ・買って満足しない
- ・1ヶ所に置くのではなく分散させる
- ・リュックが最適
- ・水は (未開封なら) 腐らない 賞味期限は容器の耐用年月数
- ・ポンチョ (目隠し)

5 実行の紹介

【GP 討議】 テーマ ～安心・安全な学校とは～ と発表

3 人組で実施 (司会者・発表者を選出) 10 分間



①個人でできること

緊急・救難信号 … (i) モールス信号・発光・警笛 3 回繰り返す

(ii) 地面に石を並べて・石灰で『SOS』、要救助は『V』、要医療は『X』

②複数人でできること

二人で一人を運ぶ方法

③学校等でできること

『釜石の奇跡』鶴住居の中学生

「私たちは週に一度、本気の訓練を続けてきました。だから、助かったのだと思います」避難エリア
まで 800m、訓練していた中学生でも時速 2km/h が限界

④避難要領の確認

自拓付近の状況を知る … ハザードマップの確認 我が家(社)は何メートル浸水するかを知るた
だし、豪雨・大雨・台風・豪雪のとき、警報・避難勧告が発令したら安全な明るうちに避難所
へ向かう！

⑤自衛隊の実施事項

防災講話 (静岡女子高、常葉橋高、科学技術高、第一学院高、静岡高、大成中学等)

部隊展開 (自衛隊が炊事するカレーの喫食及び装備品展示を実施し、自衛隊の災害時の行動につ
いて理解を促進)

以上

報告書作成者

高橋善彦 (浜松日体)

出口美絵 (不二聖心)

鈴木英武 (加藤学園)

吉田和生 (聖隷クリストファー)